



2018年3月30日

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

第155号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- 第23回グローバル地震観測コースを修了
- グローバル地震観測コース閉講式 研修生代表あいさつ
- 元研修生が本を出版

研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

第23回グローバル地震観測コースを修了

国際地震工学センター 管理室長 飯竹理広

グローバル地震観測研修コースは、核実験に対する検証体制の確立へ向けた日本政府の貢献策の一つとして実施されています。

平成30年1月16日に開始したグローバル地震観測コースの閉会式が、3月9日(金)、JICA筑波において開催されました。今回のコースでは、1名が途中帰国することになりましたが、16名の研修生が式典に参加しJICAとBRI/IISEEの修了書を授与しました。そしてインドのサンジャイ氏が研修生代表として挨拶をしました。

約2か月間という短い期間でしたが、グローバル地震観測に関する知識や高度な地震解析技術の習得だけでなく、研修旅行を通じて、これまでの日本の取り組みや文化にも触れることができたと思います。研修生には、日本で学んだことを同僚も含めた沢山の方にも紹介して頂けると嬉しいです。

本コースの実施にあたり、包括的核実験禁止条約機関、外務省、国際協力機構、気象庁、などの関係の皆様には大変お世話になりました。本コースへのご支援とご協力に深く感謝申し上げます。



論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



グローバルコース閉講式

グローバル地震観測コース閉講式 研修生代表あいさつ

サンジャイ・クマール・プラジャパティさん (インド)



サンジャイさんのあいさつ

建築研究所 緑川光正 理事長、JICA 筑波 高橋 政行 所長、国際地震工学センター 横井俊明 センター長、ご列席の皆様、そして仲間の研修生の皆様。

本日、2017年度グローバル地震観測コースを修了した研修生代表として、この場で挨拶を述べることを光栄に思います。何

よりも、この研修を成功に導くため多大なるご尽力を頂きました日本政府、外務省、JICA、建築研究所そして国際地震工学センターの皆様へ心から感謝の気持ちを申し上げます。

グローバル地震観測コースを受講できたことは幸運なことだと感じています。自国を離れて2ヶ月間日本に滞在する機会を与えてくれました。来日前は、日本の文化や日本での生活がどんなものか想像できませんでした。

私たちは本研修の目的である「核爆発と自然地震の識別技術の習得」を達成できたと確信しています。これは、熱心な先生方が時間をかけて説明してくれた有益な講義のおかげで可能となりました。

また、簡単な日本語も話せるようになりましたし、文化遺産への訪問を通じ、日本文化を学ぶことができました。諸先生方に直接感謝の言葉を伝



楽しむのは今です。

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは
下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

えられませんが、この場でお礼を申し上げます。私たちのために忍耐強くご指導いただき有難うございました。

閉講式を迎えましたが、ここで培われた友好関係が今後も続くことを期待します。それぞれの国でこの研修の目的を実現するために、様々な方法で貢献しましょう。

良いことにはすべて終わりがあり、残念ながらさよならを言う時間がやってきました。明日それぞれの国に帰ります。皆が家族、友人、最愛の人、ペットとの再会を楽しみにしている反面、この2ヶ月間「ホーム」としていた JICA 筑波センター、建築研究所の教室、いつも一緒だった佐久間さんと稲留さん、美しい日本そして皆さんとのお別れを寂しく感じています。

この研修を成功に導いてくださった全ての機関に重ねて感謝いたします。私たちは皆さんの多大なご恩を生涯忘れません。どうもありがとうございました。

元研修生が本を出版

国際地震工学センター長 横井俊明

IISEE の元研修生である、ウォルター・マウリシオ・サラザール・ゲラ博士(1998-99 地震工学コース)が構造工学に関するスペイン語の本を出版しました。書籍の概要は下記をご覧ください。IISEE は元研修生による本の出版、賞の授与、学位取得など、活躍の情報をお待ちしています。

書籍名 : PRO STRUCTURAL 3D Software para el análisis de estructuras
著者 : Walter Mauricio Salazar Guerra
出版社 : David Publishing Company (<http://www.davidpublisher.org/>)
ISBN : 1-934502-26-X

この PRO-STRUCTURAL 3D software の初版では、115 の構造解析の例が紹介され、梁、フレーム、アーチ、階段、道路構造、二重壁構造システム、石積壁、ガレー、金属柵（ラック）、単体及び複合アーム、土壌保持や地盤の構造などが含まれます。

構造物は、重力、地震、および風荷重を受ける可能性があり、気候変動の際に起こる温度変化、建設時の誤差や地盤沈下などに付随する構造への影響もまた考慮されます。基礎、足場および杭の解析のために、土壌の剛性に加え、切れ目または球体連結、様々な慣性および傾斜支柱を考慮したモデルや、実用的な方法として、シェアウォールとフレームに相互作用する硬直性および弾力性を組み込んだモデルを作ることにも可能です。

プログラムのソースコードは FORTRAN 言語で書かれており、コンパイルして実行するための説明とともに、書籍付属の CD-ROM に収録されています。